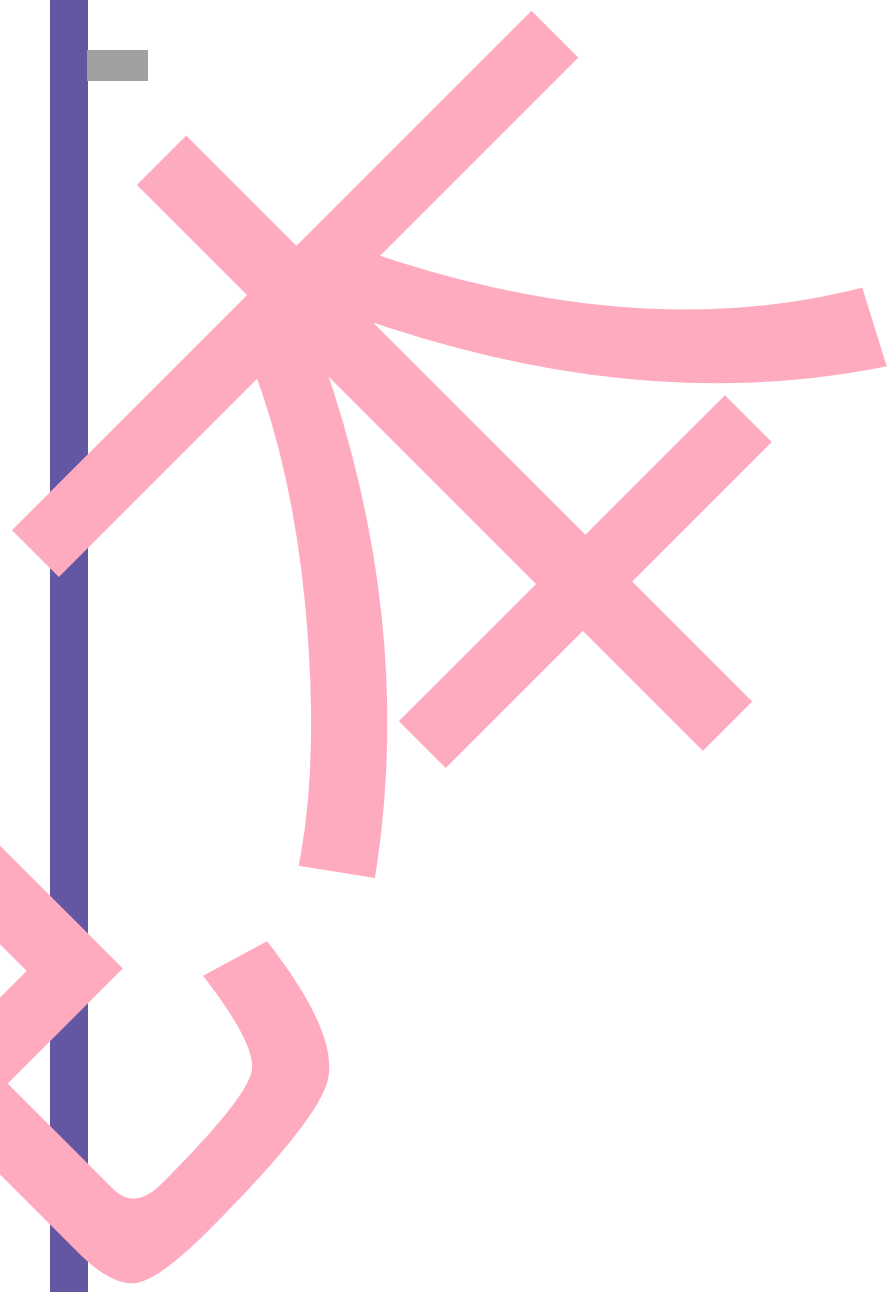


令和
8
年度版

さくぶんのとも 1

～かくこと だいすき～



1	ね ん		く み	な ま え	
---	--------	--	--------	-------------	--

先生と保護者の皆様へ

- ・教科書との関連を図っています。
 - ・児童が自分の力で文章が書けるようになることを意図して編集しています。
 - ・参考作品は「みかわの子」や地域の読書感想文集に掲載されているものを使っています。
- なお、掲載作品の学校名、地区名については執筆時の名前で表記されています。

令和8年度版 作文 15

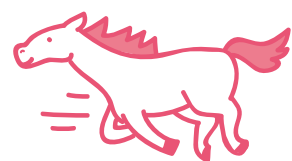
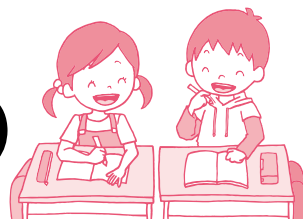
編集 「作文の友」編集委員会
三河教育研究会

刊行 公益財団法人愛知教育文化振興会
〒444-0868 岡崎市明大寺町字馬場東170番地1
電話 0564-51-4819

印刷 あいち印刷株式会社

※無断で複写・複製することを禁じます。

ぶんを つくろう



う
ま
が

○



ひ
と
が

○

ナ
イ
カ
ガ

○

「が」を
かこ

さくぶんの とも

かくこと

だいすき～

1

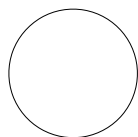


1	2	3	4	5	6	7	8
ぶんを つくろう………2	こんな こと したよ………6	ことばあそびうたを つくろう………8	えにつきを かこう………10	はっけんしたよ………12	おもい出 ^だ して かこう………16	すきな おはなしは なにな………24	おはなしを かこう………26
いちねん 一年かんの おもいでブック………30	ちの ………34	かん字 ^じ ………34					

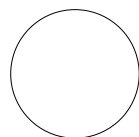
もくじ

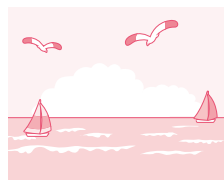
れんしゅう













は

を

つかって

えに

あう

い

と

か

ま

れんしゅう

ぶんの おわりには、
の（を） かきます。

④

③

②

①

きょうかしよ

37

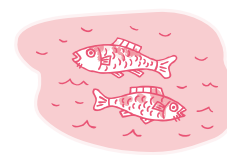
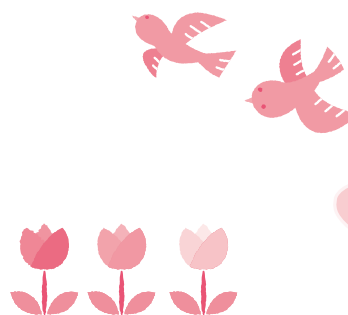
ページの

えを

みて

ぶんを

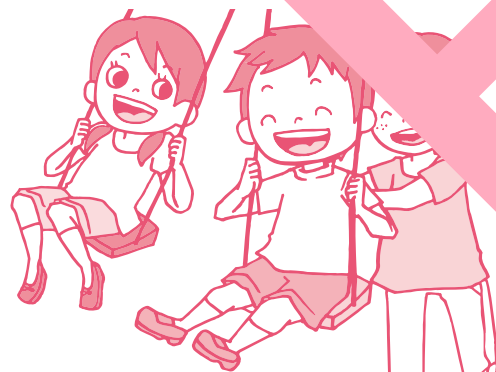
つくりました。



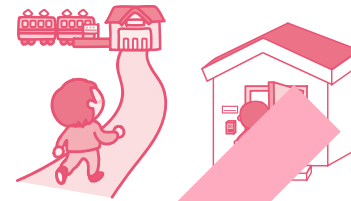
こんな こと
したよ



こんな こと したよ



がっこうで
ななな
ことを
したか。
いふ
ひに
し
せたい
ことを
きま
う。

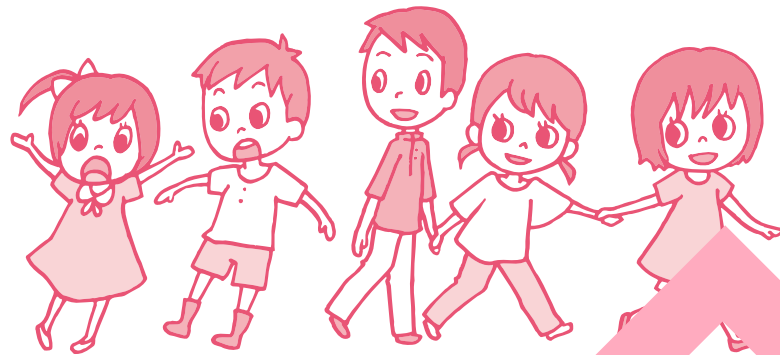


へをつかっ
に
ぶんをか
きましよう。



ををつかってえにあうぶんをかきましょう。

ことはあそびうたを つくろう



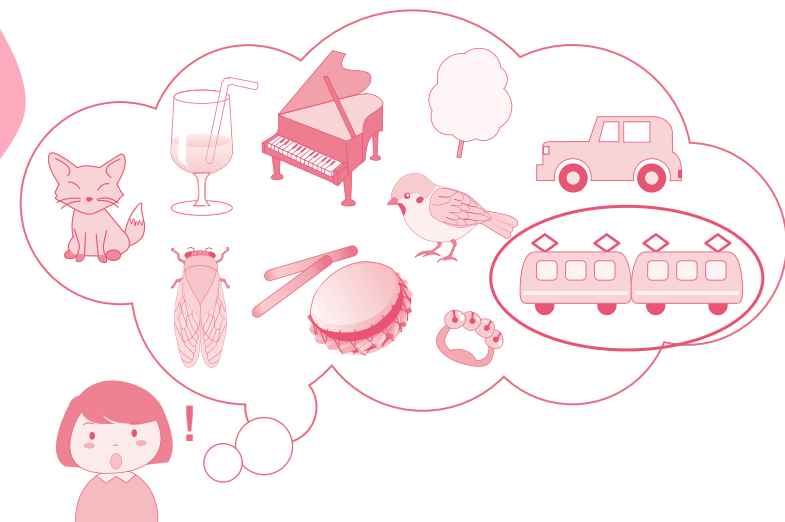
みなさんの
には、ことばを
たくさん
さしあそぶ
います。な
お、ようすを
らわすことばを
つめて、じぶんの
「ことはあそびうた」
をつくりましょう。

ことばあつめを
しよう

(れい)がたごと
でんしゃ

えにつきを
かこう

きょうは、
たか。みんな、
えとぶく。か
たのしか。こ
うれしかった
びっくりした
おもしろかった
くやしかった
がんばったこと
つぎのページに
メモをかきま
しょう。



メモ

どんなことがあったか
くわしくかいてみよう。

【れい】

びっくりした
ゴーヤをさ
ごっつして
くりしま

☆メモが

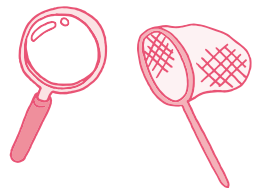
えにっきのようしに

みましよう。

こと

こと

はっけん
したよ



おもったこと

さわってみよう

においをかごう

よくきこう

よく見よう

・きこえる

音

・さわったかんじ

・うごき

・大きさ

・かたち

・いろ

みのもわ
などの
て、とも
らに
たえ
かい

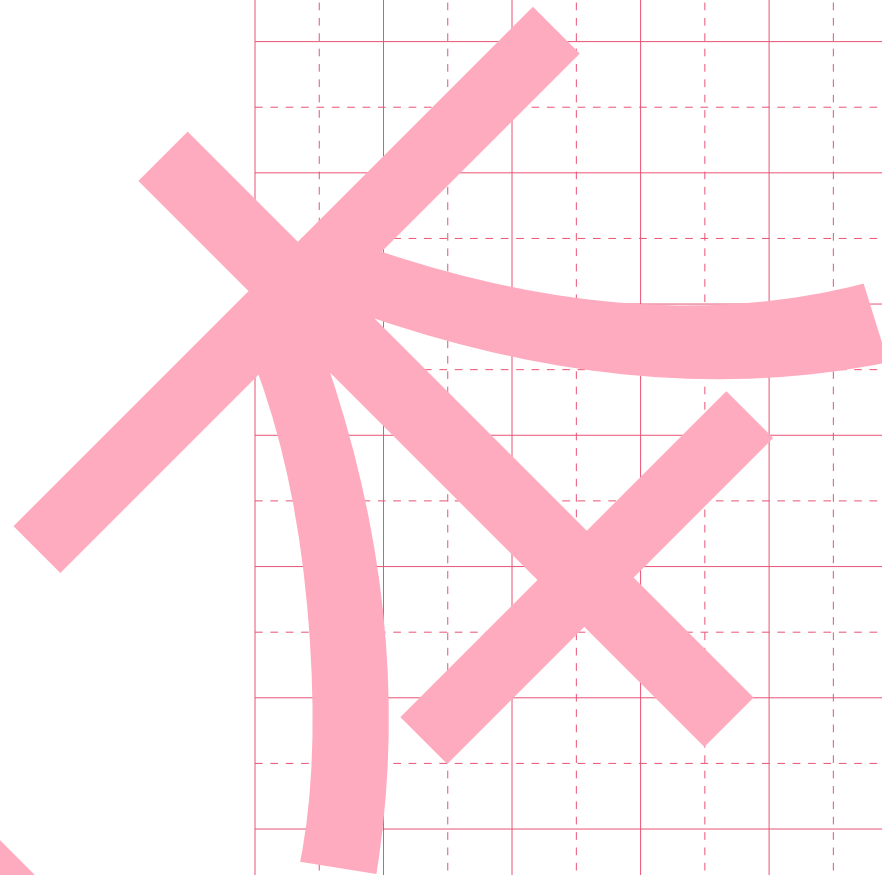
みのもわ

はな
花や

き
生い



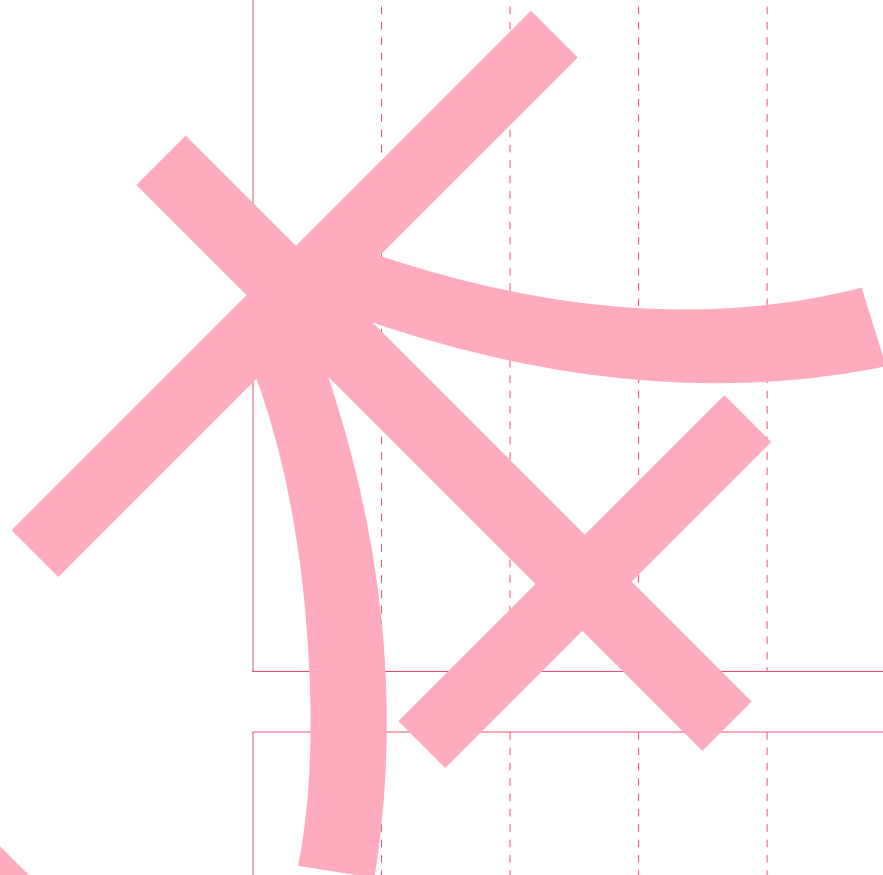
しょう。
ことを
じゅんに
かきま
ことばを
つかって、
した
じゅん
を
あらわす
まし
う。
たえ
文し
う
かき
と
とも
らや
い
し
生に
かき



学校

☆どんな ことについて かきたいですか。
した ことを おもい出して メモに かきましよう。

いえ



を	れ	に	ぎ	に		ン			
つ	か	は	に	し	は	ド	ぼ		
く	ら	っ	、	て	じ	イ	く		サ
り	、	て	み	、	め	ツ	は		ン
ま	赤 ^{あか}	、	ど	パ	に	チ	、		ド
し	い	レ	リ	ン	、	を	ず		イ
た	ろ	タ	い	を	か	つ	こ		ツ
°	の	ス	ろ	つ	み	く	う		チ
も	ね	に	の	く	ね	リ	の	も	を
も	ん	し	シ	リ	ん	ま			つ
い	土	ま	ー	ま	土 ^ど	か			
ろ	で	し	ル	し	を	ん			
の	ト	た	を	た	、	ん			
お	マ	°	パ						
り	ト	そ	ン	つ					

・した ことを
じゆんにかく。

・した こと
かく。

・と
じなこ

た	ら		と	「	と	サ	い	が
。	ニ	ぼ	い	お	な	ン	ご	み
	く	く	い	い	り	ド	に	で
	、	は	ま	し	の	イ	、	、
	う	、	し	そ	せ	ツ	ト	ハ
	れ	お	た	、	き	チ	マ	ム
	し	い		だ	の	が	ト	を
	い			ね	ゆ	で	と	つ
	た			。	み	き	ハ	く
	こ	う			さ	あ	ム	り
	お	と			ん	が	を	ま
	も	い			が	り	は	し
	い	っ			、	ま	さ	た
	ま	て				し	ん	。
	し	も				た	で、	さ

じゅんじよを
あらわす
ことば

- ・はじめに
- ・つぎに
- ・それから
- ・さいごに

・そのときの
気持ちをか
く。

はなした ことばの かきか

はなした ことばを か
つけましょう。

れい 「おいしそ
うだ

れいを 見て、れんしゅうしまし
よう。



① すきな おはなしを
いえや、学校、よ、お
はなし、なんですか。
② 「しょうい」を かき
ましょう。
その おはなしの すきな
ところを カードに かきま
しょう。



かんそう文

☆ ここに、
くわしく
た、こ、うようしに
さしよう。
○ その とき、
きもちを
かきましよう。

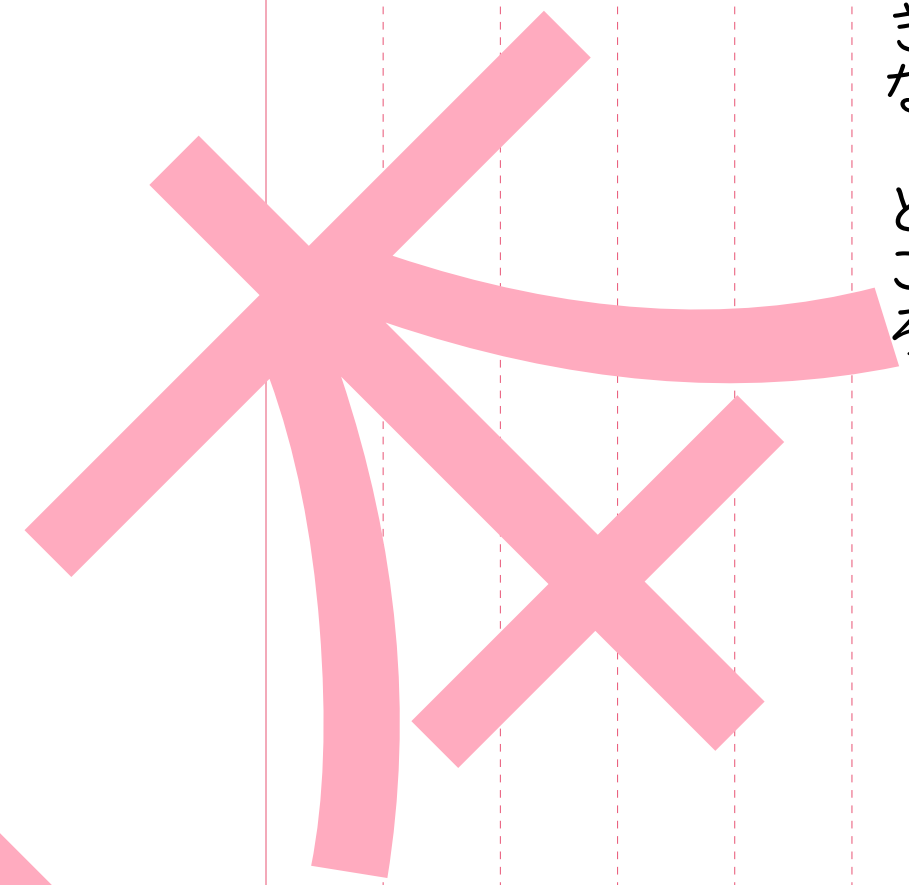


☆ 「しょうかいカード」をかきましょう。

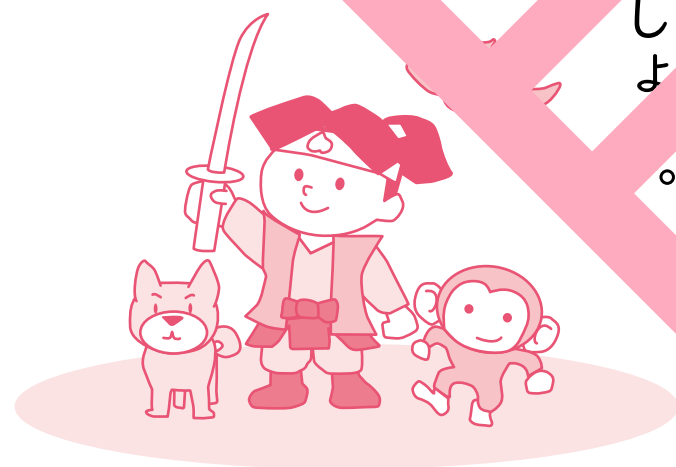
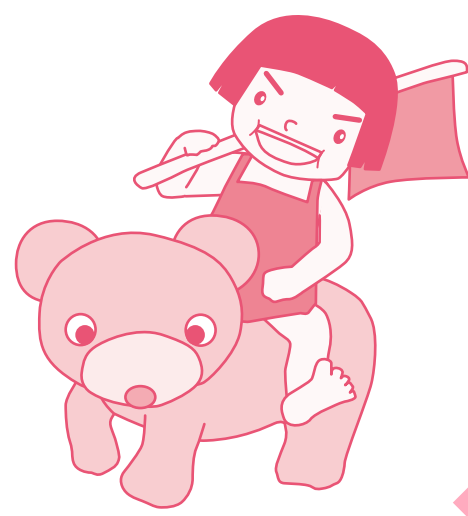
本の^{ほん}だい名^{めい}

すきなところ

えをかこう



おはなしかこう



おはな
い
出で
る
じん
を
ん
た
て、
ぶん
た
の
お
はな
し
か
き
ま
し
よ
。

☆ おはなしに出てくる人ぶつをかんがえましょう。

○ 人ぶつの名まえ

○
どんな
いつか

☆ おはなしを
かく。

かんがえた 人ぶつが
 かんがえて、 じぶんだけの
 人ぶつのとくいなこと
 ことは、どんな ことでしたか。

だい

むかしむかし、あるところにおじいさんと
おばあさんが

ある日、おばあさんは、川^{かわ}で

ろいました。その

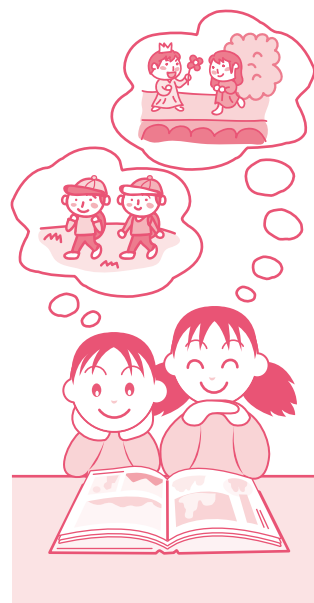
から 赤んぼうが を 生う ひ

まれました。ふたりは、

と名まえをつ

けて、そだてることにしました。

いちねん 一年かんの おもいでブック



一年か
い
文
よん
こつて
しょう。
いえの
人
きご
つた
える
文
かき
しょう。

☆ おは
よみあ
い
ま
し
う。

☆ いえの 人 に つたえる できごとを えらびましょう。

☆ もっと くわしく かける ところを さがしてみましよう。



☆ 一年かんを ふりかえって、いかにがんばったかを 文しよう。

ふりがえろう

もらった

かいた
○を

文しょうを。
つけましよう。

ともだちによ

()

かたちの にて いる かん字

□

の 中の かたちの

い

かん

と

ペア

で つかって、文をつく

ましよう。

•

•

•

文―六 草―早 十―土 木―大
右―左 大―犬 日―白 字―学

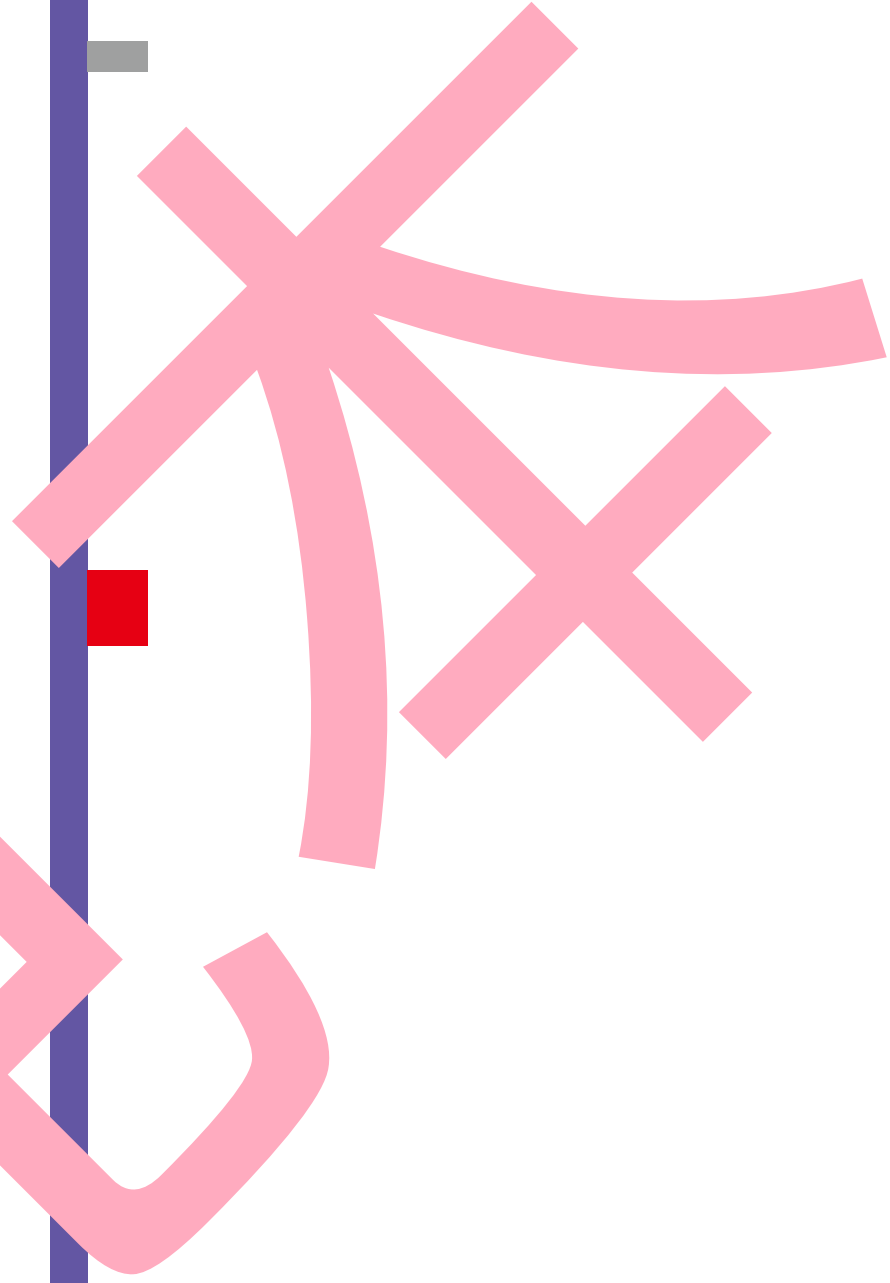
令和
8
年度版

さくぶんのとも 1

～かくこと だいすき～

教

指導展開例あり



1	ね ん		く み	な ま え	
---	--------	--	--------	-------------	--

先生と保護者の皆様へ

- ・教科書との関連を図っています。
 - ・児童が自分の力で文章が書けるようになることを意図して編集しています。
 - ・参考作品は「みかわの子」や地域の読書感想文集に掲載されているものを使っています。
- なお、掲載作品の学校名、地区名については執筆時の名前で表記されています。

令和8年度版 作文 15

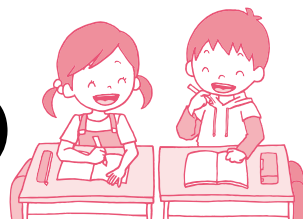
編集 「作文の友」編集委員会
三河教育研究会

刊行 公益財団法人愛知教育文化振興会
〒444-0868 岡崎市明大寺町字馬場東170番地1
電話 0564-51-4819

印刷 あいち印刷株式会社

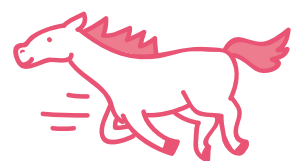
※無断で複写・複製することを禁じます。

ぶんを つくろう



○目標
○関連

主語と述語の関係を考え、
上「ぶんを つくろう」



う
ま
が
は
し
る
○

ひ
と
が
ら
う
○

※濁点の大きさをつけて書く
で伝える。

1→ 2 3 4 5
ナ
カ
ガ
○

「が」を かこ

さくぶんの とも

かくこと

だいすき～

1



	1	2	3	4	5	6	7	8
〈教科書との関連〉								
ぶんを つくろう……………	2							
上「ぶんをつくろう」上「はをつかおう」上「ををつかおう」								
こんな こと したよ……………	6							
上「こんな こと したよ」								
ことばあそびうたを つくろう……………	8							
上「ことばあそびうたを つくろう」								
えにつきを かこう……………	10							
上「えにつきを かこう」								
はっけんしたよ……………	12							
下「はっけんしたよ」								
おもい出して かこう……………	16							
下「おもい出して かこう」								
すきな おはなしは なにかな……………	24							
下「おとうとねずみ チロ」下「すきな おはなしはなにかな」								
おはなしを かこう……………	26							
下「おはなしを かこう」								
一年かんの おもいでブック……………	30							
上「一年かんの おもいでブック」								
ちの いる かん字……………	34							
下「かたちの かん字」								

指導展開例あり

もくじ

きょうかしよ 37ページのえをみて ぶんをつくりましょう。

①

とり

が

と

ぶ

○

②

く

ま

が

ね

る

○

③

は

な

が

く

る

○

④

さ

か

た

が

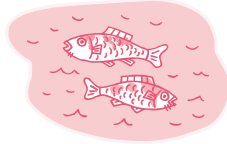
お

よ

ぐ

○

など



れんしゅう

ぶんの おわりには、
（ ）を かきます。

○目標 助詞「は」の使い方を理解し、一文の意味が明確になるように文を
○関連 上「はをつかう」

は

を

つかって

えに

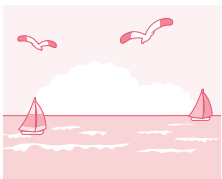
あう

い

と

が

ま



うみ

は

例 ま

かるい

あ／ひろい／いい



うきわ

は

例 あまい／つめたい／おいしい



かきごおり

は

れんしゅう

・話すときの区切りとして使われることに軽く触れる。

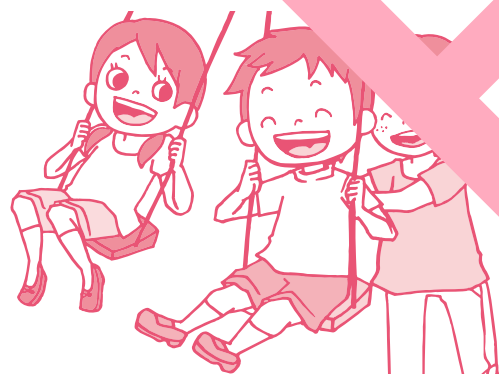
こんな こと したよ

○目標 伝えたい内容が明確になるように、
○関連 上「こんな こと したよ」

語と語や文と文の続き方に気を

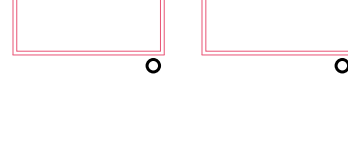
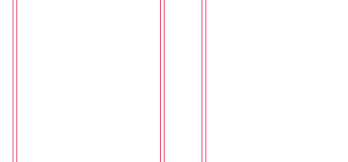
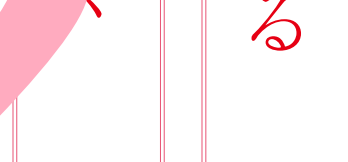
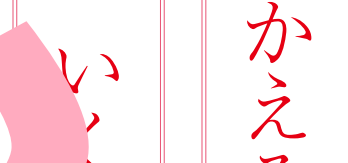
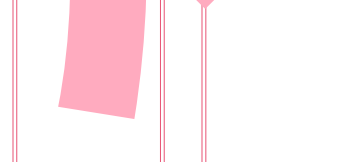
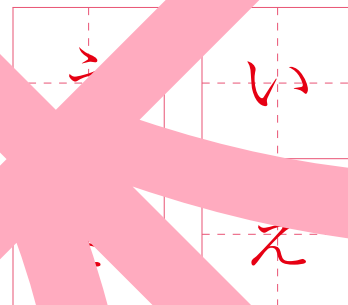
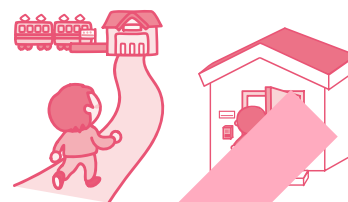
文を書くことができる。

がっこうで
したか。
ことを
ひ
んな
こと
せたい



こんな こと したよ

・解答例に限らず、
・解答例にない文を認める。



へ

を

つか

つ

に

ぶ

ん

を

か

き

ま

し

よ

う。

。

。

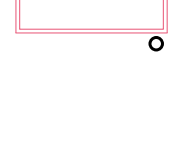
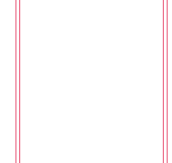
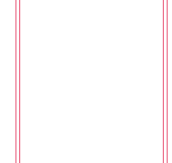
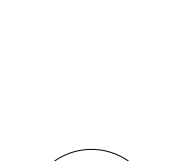
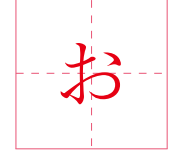
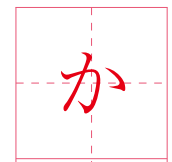
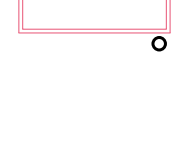
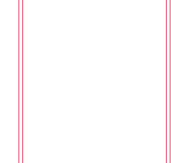
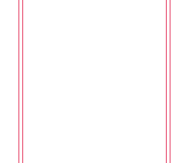
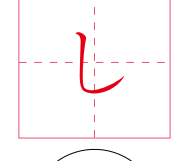
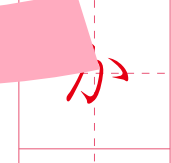
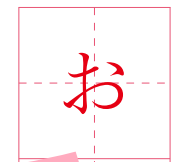
。

。

。

。

。



を

を

つか

つ

に

え

に

あ

う

ぶ

ん

を

か

き

ま

し

よ

う。

。

。

。

。

○目標 助詞「を」「へ」の使い方を理解し、一文の意味が明確になるように文を書くことができる。
○関連 上「を」「へ」をつかう

文を書くことができる。

An illustration of five children in a line, holding hands, with a large pink arrow pointing right. The children are drawn in a simple, cartoonish style with large eyes and are wearing various casual clothing. The background is white, and the arrow is a solid pink color.

教科書(上) P.78 の「点」も、点と点の間に「点」を挿入し、間違えを訂正し、間違えを訂正するところを書き直させる。

には、ことばを、たく
 みな、の
 ナ、あ、も
 い、な、もの
 お、ようすを、あ
 らわす、ことばを、あ
 つめて、じぶんの
 「ことばあそびうた」
 を、つくりました。

ことばあつめを
しよう

(れい)がたごと
でんしゃ

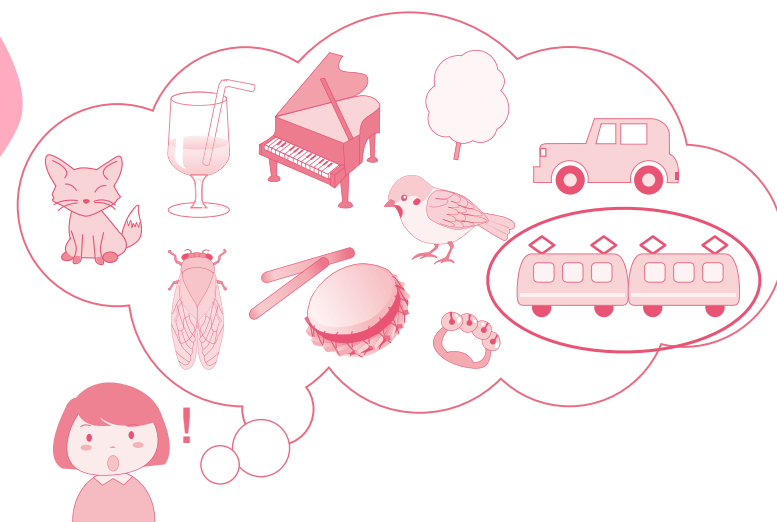
た

を読んでから、自分の「言葉遊び歌」を作らせる。

上「えにつきをかこう」

えにつきを
かこう

きょうは、
たか。みんな
えとぶくろい
たのしかつて
うれしかった
びっくりしたこ
おもしろかったこと
くやしかったこと
がんばったこと
つぎのページにメモをかきま
しょう。



メモ

どんなことがあったか
くわしくかいてみよう。

【れい】

びっくりした
ゴーヤをさ
ごっつして
くりしま

☆メモが

えにつきのようしに

みましよう。

こと

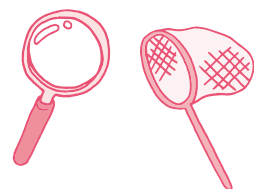
こと

○目標
○関連

観察した動植物の様子を伝えるために必要な事柄を集め、伝えたい
下「はっけんしたよ」



はっけん
したよ



よく見よう
よくきこう
においをかごう
さわってみよう
おもったこと

かたち
大きさ
うごき
さわった
きこえる
音かんじ

みのもわ
などの
て、とも
たえ
かい

☆ 「はっけんメモ」をかきましょう。

見たもの	
見た日 ひ	月 がつ
見たばしょ	日 にち
気づいたこと き	

・教科書(下) P 39を
「モ」の書き方を説明しながらすすめるように

☆ 「はっけんメモ」を見ながら、
かいた文しようにともだ
よみいまし

を
よく
たよ

名^なまえ

This image shows a full page of graph paper. It features a grid of squares defined by solid horizontal lines and dashed vertical lines. In the top right corner, there is a circle drawn with a solid line. In the bottom right corner, there is a large pink triangle pointing towards the center of the page. The rest of the page is empty grid space.

だ



経験した順序に沿って簡単な構成を考えた「おもい出して かこう」

語と語や文と文との続き

とができる。

- ・教科書(下)P40を、**段落**ごとに、**方**について、あらかじめ説明しておくように
- ・声に出して読み返す。間違っているところを書き直させる。



まじ。う。
たえろ
文し
う
かき

とち
とも
らや
生に

い
し
こ

じゅん
を
あらわす

ことばを
つかって、した

ことを
じゅんに
かきま

しょう。



☆どんな ことについて かきたいですか。
 した ことを おもい出して メモに かきましよう。

学校

(例) 生かつかのじかに、

さつまいをほった。

いえ

(例) おふろそうじの

お手つだいをした。

を	れ	に	ぎ	に		ン			
つ	か	は	に	し	は	ド	ぼ		
く	ら	っ	、	て	め	イ	く		サ
り	、	て	み	、	に	ツ	は		ン
ま	赤 ^{あか}	、	ど	パ	、	チ	、		ド
し	い	レ	り	ン	、	を	ず		イ
た	ろ	タ	い	を	か	つ	こ		ッ
°	の	ス	ろ	つ	み	く	う		チ
も	ね	に	の	く	ね	り	の	も	を
も	ん	し	シ	り	ん	ま	、		つ
い	土	ま	ー	ま	土 ^ど	、	か		
ろ	で	し	ル	し	を	こ	ん	、	
の	ト	た	を	た	こ	°	、	ん	
お	マ	°	パ	こ	い				
り	ト	そ	ン	つ	こ				

・した ことを
じゆんにかく。

・したの
かく。

・でき
と
じな
こ

が	み	で	、	ハム	を	つ	く	り	ま	し	た	。	さ
い	ご	に	、	ト	マ	ト	と	ハム	を	は	さ	ん	で、
サ	ン	ド	イ	ツ	チ	が	で	き	あ	が	り	ま	し
と	な	り	の	せ	き	の	ゆ	み	さ	ん	が	、	た。
「	お	い	し	そ	う	だ	ね	」					
と	い	い	ま	し	た								
ら	、	は	、	う	れ	い	た		う	と	い	つ	
た	。								お	も	い	ま	し

・劇や本などの題名は、
 句読点も一ます目に書か
 せ。

・そのときの
 気持ちを
 かく。

じゅんじよを
 あらわす
 ことば
 ・はじめに
 ・つぎに
 ・それから
 ・さいごに

はなした ことばの かきか

はなした ことばを
 つけましょう。

れい 「おいしそうですね。」

れいを見て、れんしゅうしましょう。

「おいしそうですね。」

① たてがき のときは ようし
の 右上 から かきは じめます。

あけます。
二ふたまいは
すくうえ
らいを

4 かきはじめは
一ます あけま
す。

6 はなしたこ
とばをかく
ときには、ぎよ
うをかえて
かぎ
を

7 おわりの かぎ
の あとは、上から
かきはじめます。

げんこうようしの
つかいかた

	かん	し	に				
	さ	す	か	た		ぼ	
	や	た			お	く	お
て	た		に	ま	に	は	も
に	の	し	ん	ず	ご	ゝ	り
け	て	じ	が	な	ゝ	っ	ひ
ま	ゝ	め	ゝ	り	か	こ	る
し	ぼ	よ		ま	ず	を	や
	く	う		し	や	し	す
	は	ゝ		た	く	ま	み

3 名まえは
を ひと一ます
けます。
みようじと
名まえの あい
だを ひと一ます
あけます。
あ した下

5 てん（、）や
まる（。、）は
一ばん 上に
こないように、
一ばん 下の
ますに 入れま
す。



げんこうようしの
つかいかた

・ P 17 のメモをもとに、P 18 ・ P 19 の例を参考にしながら書かせる。

☆ かこうと きめた ことを
けて かきましよう。

○ どん^んなことをした^たか^かた^たいまし^しう。

○ したことをじゆんにかきしよ

①はじめに、

② つぎに、



○目標
○関連

・いろいろな本を読み、読書に親しむことができる。
・読んだ本の感想をもち、絵や文に書いて、友達に紹介することが
下「おとうとねずみ チロ」 下「すきな おはなしは なにかな」

・声に出して読み返す

・ついでに、このところを書き直させる。

☆

くわしく

さしやう。

たこのようしに

○

そのとき、気持ちをかきましよう。

③それから、

④さいごに、

①

すきな おはなしは

いえや、学校、お

はたの、いんす

きな、はなですか。

②

「しやう、カードをかき

ましよう。

その おはなしの すきな

ところを カードに かきま

しよう。



かんそう文

☆ 「しょうかいカード」をかきましょう。

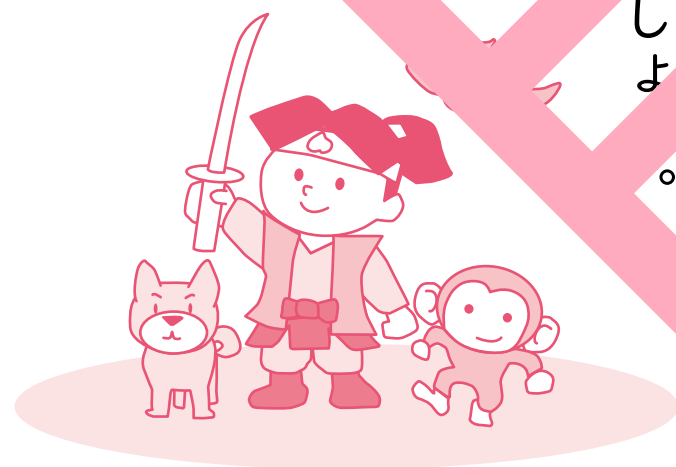
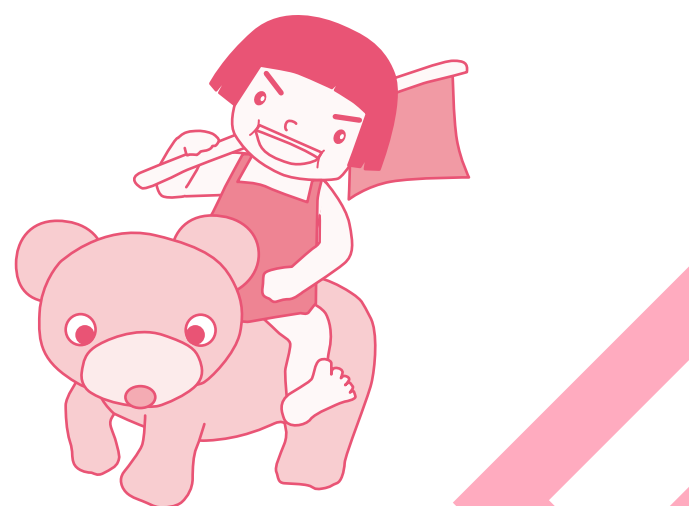
本の^{ほん}だい名^{めい}

えをかこう

すきなところ

○目標 人物とその人物がどんなことをするかを考えて簡単な物語を書くこと
○関連 下「おはなしをかこう」

おはなしをかこう



おはなしは、
かきましょ。
を
はなし
かきましょ。
おはなしは、
かきましょ。
を
はなし
かきましょ。

☆ おはなしに 出て くる 人ぶつを かんがえましょう。

○ 人ぶつの 名まえ

○ どんな 人ぶつか

・教科書(下)P95を
人物の姿を詳しく考えさせる。

☆ おはなしを かく。

かんがえた 人ぶつが じぶんだけのおはなしを
人ぶつの とくいな ことや できごとを
ことは、どんな ことでしたか。

だい
おかしむかし、ある ところに、おじいさんと おばあさんが
すんで いました。

ある 日、おばあさんは、川で
ろいました。その
まれました。ふたりは、
けて、そだてる ことに しました。

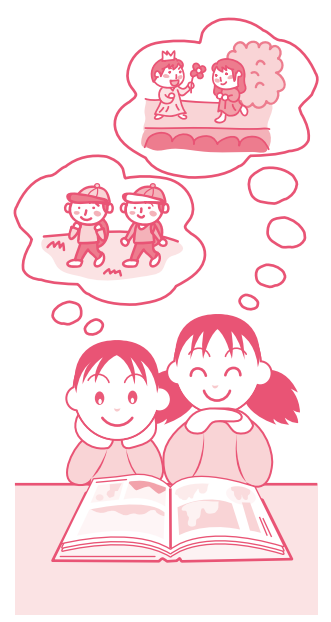
から 赤んぼうが 生
と 名まえをつ

いちねん
一年かんの
おもいでブック

○目標 これまでに書いた文章から一つ選んで書き直し、自分の文章の内容を振り返ることができる。
○関連 下「一年かんの おもいでブック」

☆ おはな...
...を
よみあいましう。

一年か...
...かい...
...文...
...の
...らびま
...の
...つた
...かきましう。
...えの
...人...
...文しうを



☆
いえの
人に
つたえる
できごとを
えらび
ましょう。

(例) うんどうかいのリレー

☆ もっと くわしく かける ところを
さがしてみましよう。

(例)はしつていとき、くるしかつたこと。

おうえんし
くれ+

一、つな

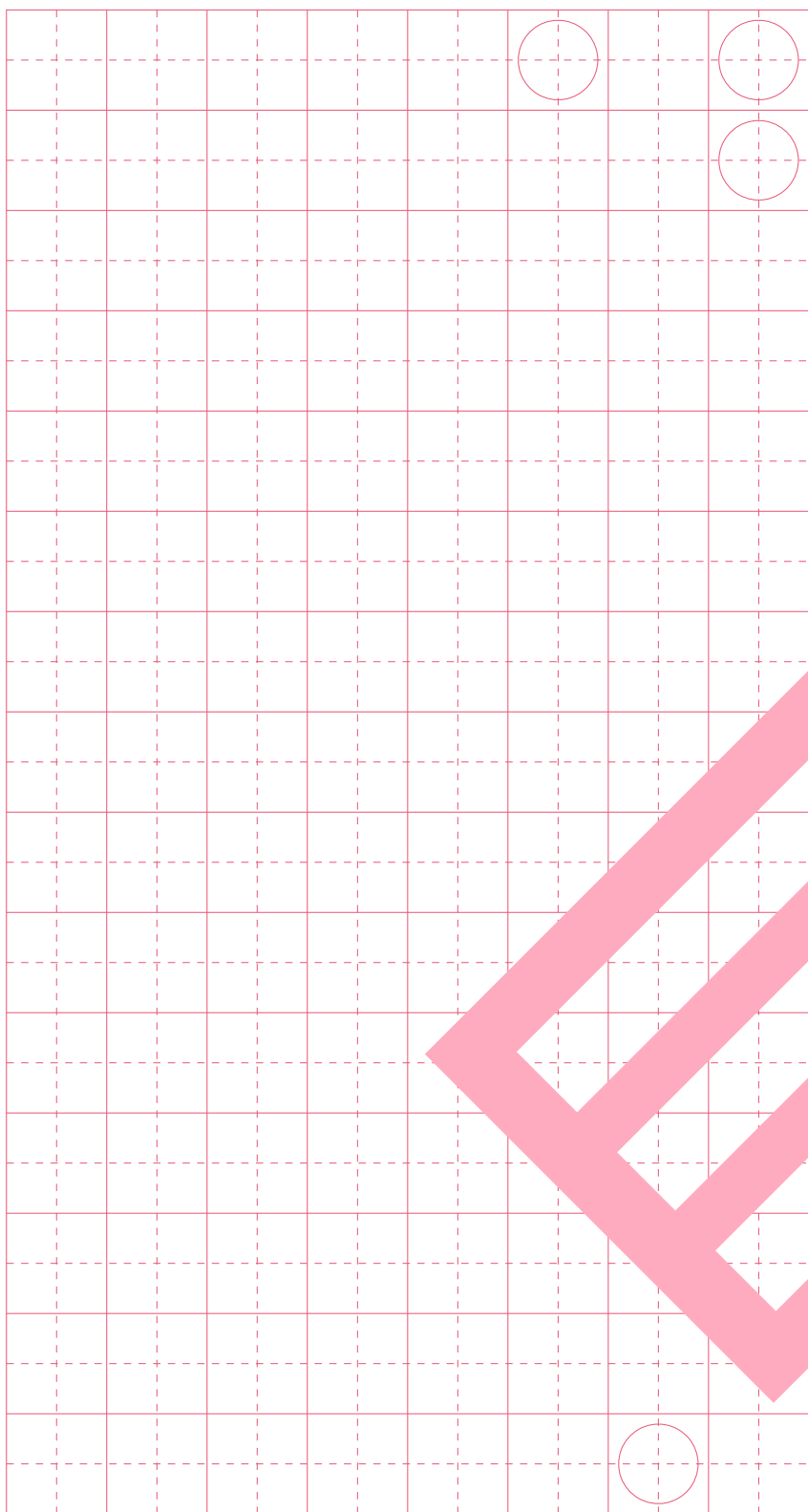
など

教科書(下) P141の

その時見たものや、どんなことをしたのかを話しく思います。



☆ 一年かんと ふりかえって、い
ている ことを 文しよう。きま
う。



ふりかえろう

てらっ
つん
た-

かい
○い
をた

文しょうを
つけましょ
う。

もだ
に
よ

○目標

漢字の字形を理解し、正しく読み書きすることができる。

○ 関連

下「かたちのにているかん字」

かん字

じ

かたちのにているかん字

の中のかたちの

い
7

かん

エ
ペ
ア

で
つか
つて、
文を
つく

まじ。



(例) 大きな犬をかいたい。

(例) 草とりを早くおわらせる。

(例) 学校でかん字をならう。

右	文
左	六
大	草
犬	早
日	十
白	土
字	木
学	大

ぶんをつくらう

《教科書との関連》

上「ぶんをつくろう」「はをつかおう」「をへをつかおう」

一 學習目標

- 1 主語と述語の関係を考え、「○○が…する。」の文型で意味が明確な文を書くことができる。
- 2 助詞「は」「を」「へ」の使い方を理解し、一文の意味が明確になるように文を書くことができる。

二 指導事項

- 1 助詞の「が」を使って、主語と述語の整った文を作らせる。
- 2 句点、読点の正しい書き方、使い方が分かるようにさせる。
- 3 助詞の「は」「へ」「を」を文の中で正しく使って文を作らせる。

三 展開例

学習の流れ	「ぶんをつくろう」 ① 主語や述語を、絵や写真を見て考え、文を作る。
内容・活動	①(1) P2の絵をみて、述語を考え、文を作る。 (2) 教科書(P36)の絵をみて、助詞の「が」を使って主語と述語の整った文を書くことを確認し、位置、大きさ、筆順に気を配る。
指導上の留意点	① 教科書(上)P36で、助詞の「が」を使った文の構成を確認した後、「が」の下にくる言葉を、絵を見て書かせる。 ○教科書(上)P37の絵を見て、どんな動物が何をしているのかを発表させてから書かせる。 ○全ての文末に句点があることに気づかせ、句点を書くことで文が終わるということを意識させる。

ぶんをつくらう

一 學習目標

- | 展開例 | | 内容 |
|----------------------|--|--|
| 学習の流れ | <p>「ぶんを つくろう」</p> <p>① 主語や述語を、絵や写真を見て考え、文を作る。</p> | <p>① (1) P2の絵を、述語を考え、文を作る。</p> <p>(2) 教科書(P4)の絵をもとに、助詞の「は」を使って主語や述語を考え、文の終りを考える。</p> |
| 「は」をつかおう
「を」をつかおう | <p>② 同じ音を表す字の使い分けに気をつけながら、絵を見て「は」を使った文や、「を」や「へ」を使った文を作る。</p> | <p>② (1) P4の絵をもとに、助詞の「は」を使って主語や述語を考え、文の終りを考える。</p> <p>(2) 教科書(上)P45の文をもとに、「、」(読点)や「は」を使って、形に注意して練習する。</p> <p>(3) P5の絵をもとに、助詞の「を」や「へ」を使って、文を作る。</p> |

二 指導事項

- | | |
|-----------------------------------|---|
| <p>動</p> | <p>指導上の留意点</p> |
| <p>主語と述語の整った文
位置、大きさ、筆順に気</p> | <p>①教科書(上) P 36で、助詞の「が」を使った文の構成を確認した後、「が」の下にくる言葉を、絵を見て書かせる。</p> <p>○教科書(上) P 37の絵を見て、どんな動物が何をしているのかを発表させてから書かせる。</p> <p>○全ての文末に句点があることに気づかせ、句点を書くことで文が終わるということを意識させる。</p> |
| <p>た文を作る
位置、大</p> | <p>○教科書(上) P 54・55で、文を確認した後、書いて書かせる。</p> <p>「は」を使った文を、絵</p> |
| <p>的語と述語
た文</p> | <p>○教科書(上) P 54・55で、文を確認した後、書いて書かせる。</p> <p>「は」を使った文を、絵</p> |

こんなことしたよ

《教科書との関連》
上「こんなことしたよ」

一 学習目標

- 1 伝えたい内容が明確になるように、語と語や文と文の続き方に気をつけて文章を書くことができる。

二 指導事項

- 1 学校での出来事を詳しく思い出し、主述の照応や句読点の表記などに注意しながら文章に書かせる。
- 2 出来事の様子が読み手に伝わるように文章を書かせる。
- 3 書いた文章を友達と交換して読み合い、感想を伝え合わせる。

三 展開例

学習の流れ	学習内容・活動	指導上の留意点
① 学校での出来事を思い出し、書くことを決める。	① 学校での遊びから家の人に知らせることを決める。	①〇遊びのこと、学習のこと、生活の中の出来事などを自由に思い出させ、書かせる。
② 文章を書く。	② 教科書(上)P.96・97を参考にして、文章を書く。	②〇知らせたい相手を思い浮かべ、伝えたい出来事を分かりやすく書くという意識をもたせる。 〇書き出しは一字下げて書かせる。句読点や助詞について、既習事項を確認してから書かせる。 〇自分が書いた文を読み返し、間違えたところを書き直させる。
③ 友達や家の人に読んでもらう。	③ ①(1) 友達に読んでもらう。 ② 教科書(上)P.96・97を参考にして、文章を書く。	

ことばあそびうたをつくらう

一 学習目標

- 1 身の回りのものから書くものを見つけ、それに関わる音や様子を表す言葉を集めたり確かめたりして言葉遊び歌を作ることができる。

二 指導事項

- 1 教科書(上)P.96・97「ことばあそびうた」を音読して、音や様子を表す言葉を集める。
- 2 身の回りから、いろいろなものの音や様子を表す言葉を集める。
- 3 集めた言葉を組み合わせ、言葉遊び歌を作る。
- 4 作った言葉遊び歌を音読して、感想を伝え合う。

三 展開例

学習の流れ	学習内容・活動	指導上の留意点
① 「たべもの」の詩を読む。	① 教科書(上)P.96・97「たべもの」の詩を音読する。	①〇食べ物だけでなく、乗り物、動物、楽器などの音や様子を表す言葉を集めさせる。
② いろいろなものの音や様子を表す言葉を集める。	② 身の回りから、いろいろなものの音や様子を表す言葉を集める。	②〇同じ種類の音や様子を表す言葉(食べ物、乗り物、動物、楽器など)を組み合わせ、自分の言葉遊び歌を作らせる。
③ 言葉遊び歌を作る。	③ 集めた言葉を組み合わせ、言葉遊び歌を作る。	③〇お互いの言葉遊び歌を聞き合い、音や様子を表す言葉のおもしろさに気づかせる。
④ 作った言葉遊び歌を音読する。	④ 作った言葉遊び歌を音読して、感想を伝え合う。	

えにつきを かこう

《教科書との関連》
上「えにつきを かこう」

一 学習目標

1 伝えたいことを明確にして必要な事柄を集め、絵日記を書くことができる。

二 指導事項

1 経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にさせる。

三 展開例

学習の流れ	学習内容・活動	指導上の留意点
① 学校や家での出来事を思い出し、書くことを決める。	① 楽しかったことなどの項目の中から、書きたいことを決める。 ② 例を参考に、メモを書く。	①○遊びのこと、学習のこと、生活の中の出来事などを自由に思い出させる。 ②○①で思い出したことをくわしくメモに書く。
② メモを書く。	② 例を参考に、教科書（上）の105ページを参考に、文章と絵を書く。	③○メモをもとに、伝えたい出来事をわかりやすく文章に書く。
③ 絵日記の用紙に書く。		

はっけんしたよ

一 学習目標

1 観察した動植物の様子を伝えるために必要な事柄を集め、伝えたいことを明確にして書くことができる。

二 指導事項

1 題材の選択や、見つけたものの、気づいたことを、順序よく書き表せる。
3 観察したもののをよく見て、様子や動きを分かりやすく伝えるよ

三 展開例

学習の流れ	学習内容・活動	指導上の留意点
① 身の回りにいる生き物を見つけ、書きたいことを考える。	① 身近な動植物の様子を友達に伝えるために、よく見てみたい動植物を選ぶ。 ・虫 ・小動物（自分の家のペット・学校の飼育小屋の小動物・鳥など） ・植物（花や樹木など）	①○季節をとらえ、身の回りの自然や生活の中から、題材を探させる。 ○生き物というとらえ方から、虫や小動物、植物へと、題材に広がりをもたせる。

② 「はっけんメモ」を書く。 ③ メモをもとに文章を書く。	②(1) 「はっけんメモ」の書き方を知る。 (2) 見つけたものの名前、見た日、場所、気づいたことなどをP13の「はっけんメモ」にまとめる。 ③(1) 教科書(下)P40を読み、書き方の参考にする。 (2) 自分の「はっけんメモ」をもとにして、文章を書く。 (3) 自分の書いた文章を読み返し、間違いを正しく直す。 ④ 見つけたことを文章をもとに発表する。 ④ 書いた文章を見つけたこと発表し合う。	②○教科書(下)P39の「はっけんメモ」の例を読み、書く事柄(色、形、大きさ、動き、触った感じ、聞こえる音)を理解させる。 ③○教科書(下)P40を読み、文章の構成を確認した後、「はっけんメモ」にまとめた事柄を順に書かせる。 ○文末を「でした」「ました」の敬体で書かせる。 ○メモをつないだだけの文章ではなく、思ったことを付け加えて書かせる。 ○何の生き物について書いたか分かる題を書かせる。 ○よく読み直しをさせ、間違っているところは、書き直させる。 ④○友達の発表をよく聞き、お互いに認め合う気持ちをもたせる。
---	--	--

おもい出して かこう

一 学習目標

1 経験した順序に沿って簡単な構成を考え、語と語や文と文との続き方に注意しながら書くことができる。

二 指導事項

1 「どんなことをしたのか」「そのときの気持ち」の構成で順序よく書くことができる。

2 「どんなことをしたのか」「したこと」「そのときの様子」を、読み手によく伝えられるように書くことができる。

3 順序よく書くことを意識して、言葉を使って書くことができる。

三 展開例

学習の流れ	学習内容・活動	指導上の留意点
① 家や学校でしたことについて、書いたことを考える。	①(1) 家や学校でしたこと、様子や気持ち詳しく書けそうなこと、みんなに知らせたいことを考え、P17に書く。 (2) P18・19を読む。 ・「どんなことをしたのか」「したこと」「そのときの気持ち」の書き方を知る。	①○家や学校でしたことを思い出させる。 ○P18・19の作品の構成を理解させる。 ○「どんなことをしたのか」「したこと」「そのときの気持ち」の内容を確認させる。

おはなしを かこう

《教科書との関連》
下「おはなしを かこう」

一 学習目標

1 人物とその人物がどんなことをするかを考えて簡単な物語を書くことができる。

二 指導事項

1 教科書の例を参考にして、中心となる人物を考え、その人物がどんなことが得意か、どんなことが好きかを想像し、メモに書かせる。
2 メモをもとに、自分だけの物語を創作し、書き上がった作品を声に出して読ませる。

3 できあがった物語を友達と読み合い、物語のよさを見つけて伝え合わせる。

三 展開例

学習の流れ	学習内容・活動	指導上の留意点
① 「ももたろう」のお話を聞き、内容を確認する。	① 「ももたろう」のお話では「こんなことを確認する。」	①〇「ももたろう」の読み聞かせを聞き、誰がどんなことをする話だったか確認させる。
② 誰がどんなことをするお話を伝える。	② 教科書(下)の例を見て、誰がするお話にするか考え、P.27に書く。	②〇教科書の例を参考にして、自分のお話の主人公と、どんなことが得意か、どんなことが好きかを考えさせる。
③ お話を書く。	教科書「ももたろう」の例を参考に、96ページの「おはなし」は「はちやたろう」のお話を書く。	③〇メモをもとにして、P.28・29にお話を書かせる。 ○大きくなったかどうかは、教科書の例のように、詳しく書かせる。
④ お話を読み合う。	④ 作ったお話を友達に伝え合う。	④ お話を互いに読み合い、おもしろいところや、よくできているところを伝え合わせる。

一年かんの おもいでブック

一 学習目標

1 これまでに書いた文章から一つ選んで書き直し、自分の文章の内容や表現のよいところを見つけることができる。

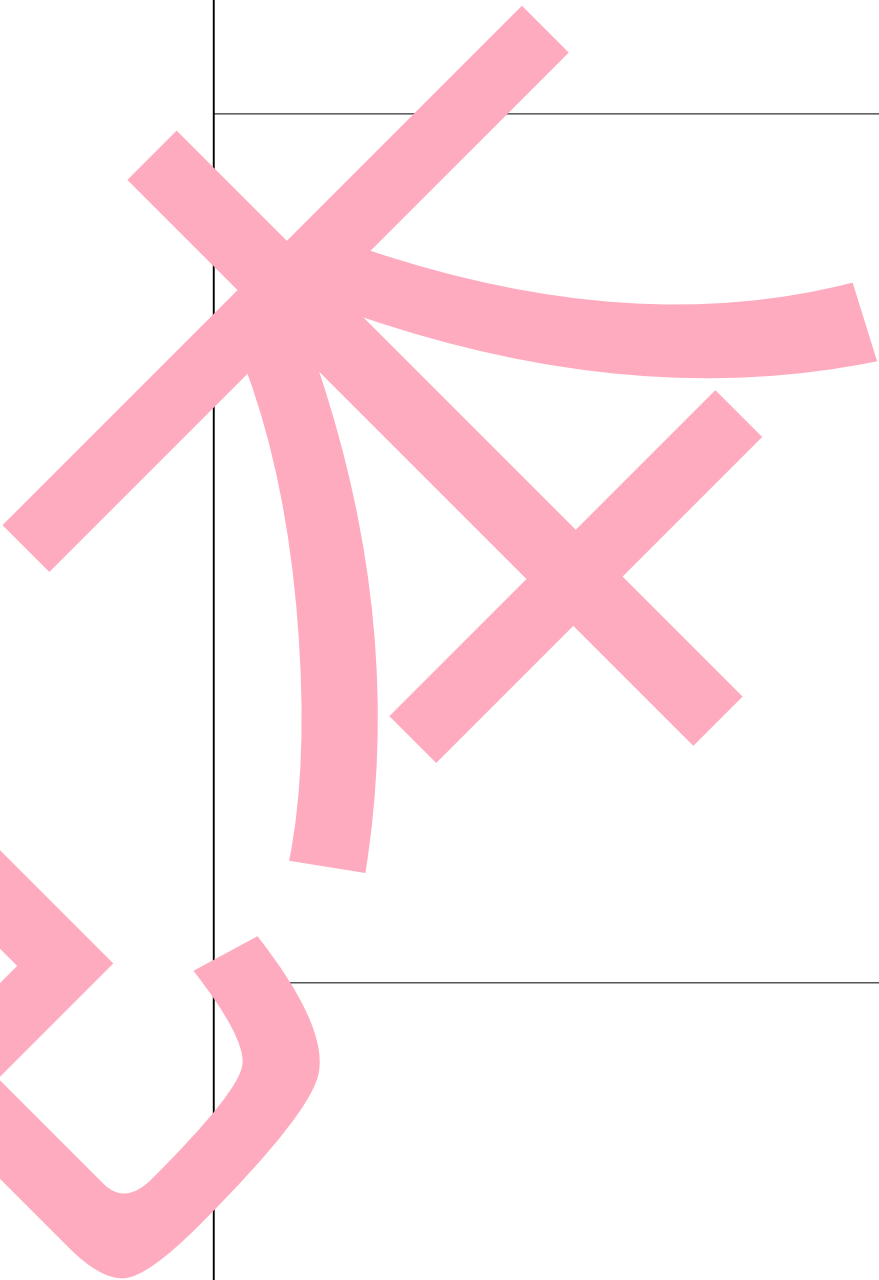
二 指導事項

1 これまでに書いた文章を読み返し、一年間の思い出について思い出す。思い出す文章を読み返し、思い出す文章を家の人に読んでもらい、思い出す文章を書かせる。
2 思い出す文章を読み返し、思い出す文章を書かせる。

三 展開例

学習の流れ	学習内容・活動	指導上の留意点
① 一年間の思い出を話し合う。	① 一年間の出来事を思い出し、思い出について話し合う。	①〇これまでに書いた文章を読み返し、一年間の出来事を思い出させる。
② 心に残った出来事をメモする。	②(1) うれしかったこと、おどろいたことなどを思い出し、心に残っていることを選ぶ。 (2) 選んだ出来事を書いた文章を読み返し、詳しく書けそうなことをP.31にメモする。	②〇これまでに書いた文章を読み返し、一年間の出来事の中で心に残っていることを選ばせる。

③ いちばん心に残っていることを文章に書く。	③ (1) 一年間を振り返って、いちばん心に残っていることを文章に詳しく書き直す。 (2) 自分の書いた文章を読み返し、間違いを正しく直す。
④ 家の人に文章を伝える。	④ 書き直した文章を家の人に見せたり話したりして伝える。
	③ ○メモをもとに、心に残っていることを文章に書かせる。 ○ P21も参考に、原稿用紙の書き方やかぎカッコの書き方など、学習したことを思い出しながら文章に書かせる。 ④ ○書き直した文章を子どもに渡し、家の人に読んでもらえるよう持ち帰らせる。



かたちの にて いる かん字

一 学習目標

1 漢字の字形を理解し、正しく読み書きすることができる。

二 指導事項

1 形の似て、読み書きが異なる漢字を、読み書きの練習を通して、正しく読み書きさせる。

2 形の似て、読み書きが異なる漢字を、読み書きの練習を通して、正しく読み書きさせる。

3 形の似て、読み書きが異なる漢字を、読み書きの練習を通して、正しく読み書きさせる。

4 形の似て、読み書きが異なる漢字を、読み書きの練習を通して、正しく読み書きさせる。

三 展開例

学習の流れ	学習内容・活動	指導上の留意点
① 違うところに気をつけて、使う漢字のペアを選ぶ。 ② 選んだ漢字を使って短文を作る。	① 似ているところや違うところを発表し、字形の違いに気づかせる。 ② 字形の似ている漢字の組み合わせを使って文を作る。	① ○漢字を大きく板書し、似ているところや違うところを指し示したり囲んだりして違いを意識させる。 ② ○文作りになかなか取り組めない児童に対しては、文型を与えて、空欄を埋めることで文を作らせる。